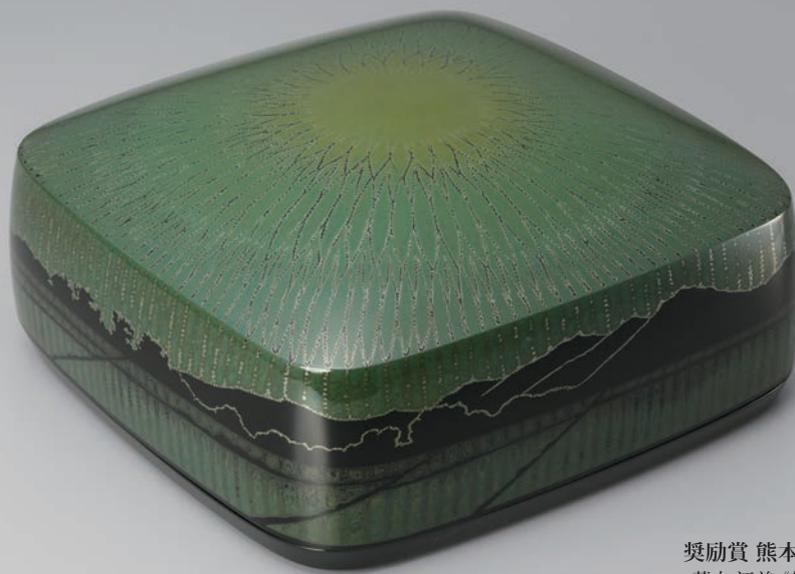


第34回 日本伝統
漆芸展

JAPAN TRADITIONAL *Urushi* Works EXHIBITION 2017



奨励賞 熊本県伝統工芸館賞
敷内 江美《乾漆蒔髹箱「幽韻」》



重要無形文化財蒔髹保持者
太田 倂《藍胎蒔髹香盒「秋空」》

2017年3月15日[水]～3月26日[日] ※3/21[火]休館

【開展式】 2017年3月15日[水]午前9時30分～ 【会場】 高松市美術館1階常設展示室1

開館時間 9:30～19:00 (但し日曜日は17:00閉館) /入室は閉館30分前まで

観覧料 一般200円(160円) /大学生150円(120円) /65歳以上・高校生以下無料

※()内は20名以上の団体料金 ※常設展示室2もご覧になれます。

主催=高松市美術館 公益社団法人日本工芸会

後援=文化庁 香川県 香川県教育委員会 朝日新聞社 四国新聞社 NHK高松放送局

KSB瀬戸内海放送 OHK岡山放送 RNC西日本放送 RSK山陽放送 TSCテレビせとうち

高松市美術館
TAKAMATSU ART MUSEUM

第34回 日本伝統 漆芸展

常設展示室 1

日本を代表する工芸として、永い歴史をもつ漆芸。日本伝統漆芸展は、伝統の継承と現代生活への応用を目指し、日本伝統工芸展の漆芸部会展として開かれています。第34回となる本展は、東京・輪島・広島・高松・熊本の5会場を巡回し、受賞作7点を含む入選作品全91点を展示いたします。

重鎮から新進まで漆芸への飽くなき挑戦がうかがわれる本展覧会は、後継者育成に大きな貢献を果たしています。各地の伝統が育んだ地域性をも展望することができるまたとない機会です。本展が見せる磨き抜かれた技と美への探求と共に、常設展示室2で開催されている高松市美術館コレクションによる「讃岐漆芸にみる飛翔するイメージ」も併せて鑑賞いただき、漆芸の魅力をお楽しみください。

列品解説のご案内

会期中、展示室内において下記出品者による展示作品の解説を行います。※観覧料要

・3月18日(土)13:00から 山下義人(鑑審査委員・重要無形文化財保持者)

・3月25日(土)13:00から 大谷早人(日本工芸会漆芸部会常任幹事)



重要無形文化財蒔髹保持者
山下 義人《水辺り蒔髹四方盆》



文部科学大臣賞
河村 岳大《乾漆朱塗合子》



東京都教育委員会賞
長内 洋三《乾漆溜塗盤》



朝日新聞社賞
鶴飼 敏伸《乾漆蒔髹線文盛器》



MOA美術館賞
須藤 靖典《乾漆蒔絵聖餅箱「豊穰」》



奨励賞 輪島漆芸美術館賞
村谷 聡志《乾漆盛器「風の韻」》



【交通情報】

◎JR四国：JR高松駅下車、南へ徒歩約15分

◎ことでん：瓦町駅・片原町駅下車、徒歩約10分

◎バス：(ショッピング・レインボー循環バス)紺屋町バス停下車、徒歩約2分 / (まちバス)丸亀町参番街下車、徒歩約3分 / (高速バス)県庁通り下車、徒歩約8分

◎駐車場：美術館地下に公営駐車場(有料、乗用車144台収容)

第5期常設展 讃岐漆芸にみる飛翔するイメージ "Soaring" as Depicted in Sanuki Lacquerware

常設展示室 2

鳥や蝶などの文様は古来より日本と中国の美術・工芸において、花鳥風月の文様として好んで用いられてきました。江戸後期に現れた玉楮象谷(たまかじぞうこく)によってその基礎が築かれた讃岐漆芸においても、鳥や蝶などの飛翔するイメージを用いた優品が数多く存在します。讃岐漆芸の祖・玉楮象谷から現代の人間国宝作家まで、飛翔するイメージがあしらわれた讃岐漆芸41点(20作家)をお楽しみいただけます。

TAKAMATSU ART MUSEUM
高松市美術館

〒760-0027 香川県高松市紺屋町10-4 TEL:087-823-1711
<http://www.city.takamatsu.kagawa.jp/museum/takamatsu/>